CARBON POOLコンクリートの開発と実装

CO_2を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト

安藤ハザマ

事業概要

研究開発 項目1

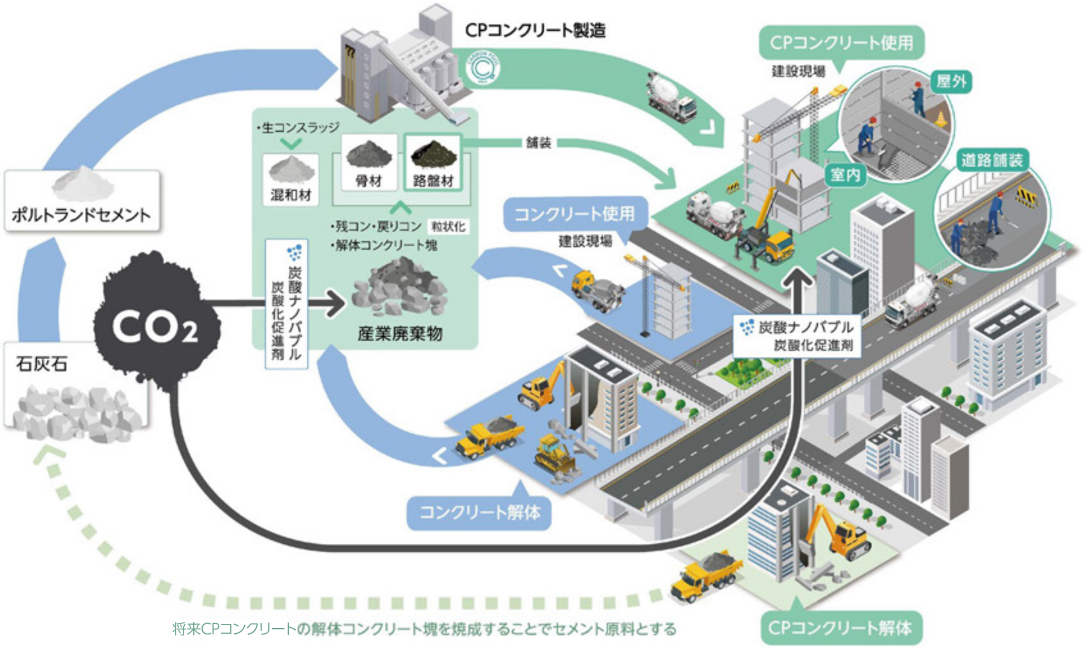
「CO_2排出削減・固定量最大化コンクリートの開発」

セメント焼成工程などで発生するCO_2を、コンクリート由来の産業廃棄物に固定化させるという**地域内循環**を構築し、さらに新たな技術を用いて引き渡しまでに**CO_2固定量を最大化**したCARBON POOL（CP）コンクリートを開発する。CPコンクリートの施工性や耐久性を確保し、**舗装のみならず、建築・土木構造物にも実装**する。

研究開発 項目2

「CO_2排出削減・固定量最大化コンクリートの品質管理・固定量評価手法に関する技術開発」

$LCCO_2$・LCA・LCCの総合評価システムを構築することにより**ESG金融の促進やカーボンプライシングをサポート**し、脱炭素社会に貢献する。



実施体制

研究開発 項目1

根幹技術の開発
- ㈱安藤・間

地域内環境技術の開発
- ㈱内山アドバンス
- 大阪兵庫生コンクリート工業組合
- 灰孝小野田レミコン㈱

社会実装に向けた開発
- 舗装：大成ロテック㈱
  - 日本道路㈱
  - ㈱佐藤渡辺
- 構造物：㈱安藤・間
  - 青木あすなろ建設㈱
  - ㈱淺沼組
  - トピー工業㈱

研究開発 項目2

まとめ及び$LCCO_2$評価手法の開発　（一財）電力中央研究所

開発内容	担当
$LCCO_2$・LCA・LCC統合評価設計システムおよび社会実装シナリオの検討	東京大学
品質評価・品質管理手法の開発	東京都立大学
LCA（材料資源）評価手法の開発	国立環境研究所
LCC評価手法の開発	明星大学

※本事業は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）による、グリーンイノベーション基金事業「CO_2を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト」における2030年までの公募事業です。

お問い合わせ　建設本部 技術研究所 脱炭素技術開発部　☎ 029-858-8814